

◆◆◆感謝の会 その後◆◆◆

- 学校通信「南風」にも書きました「感謝の会」。

1年生の子どもたちとの交流が
終わったあとのこと。

見守りボランティアの皆さまと
PTA郷原会長、安全委員会の
皆さま、そして私と原尾教頭先生
とで給食をいただきました。



- 食べ終えてから、ボランティアの
皆さまからボランティアを始める
きっかけや、見守りを通して
感じていること、子どもたちへの
思い、私たちへのメッセージを
語っていただきました。
皆さまの声をいくつか紹介します。



- ▼始めてから20年。やめるにやめられない。
子どもがかわいいから。子どもからエネルギーをもらっているから。
- ▼子どもの言葉や姿に心が洗われる。だからやめられない。
- ▼子どもたちは孫のかわりと思っている。
- ▼子どもが私の名前を覚えていて呼んでくれたのがうれしい。
- ▼以前、子どもは名札を付けていたが今は付けていない。
付けない理由は分かるが、名前が分からなくて不便に感じる。
- ▼送迎が多いのが気になる。子どもがひとり立ちできるよう親もがんばってほしい。
- ▼親としての自分をふりかえると、いけないと分かっているのに自分から先に手を出し口を出してしまう。子どもの成長のために子どもにさせる、任せることが必要。



- 有難い言葉の数々です。
ボランティアの皆さまの尊い思いとお考え、笑顔にふれることができた大切な時間になりました。